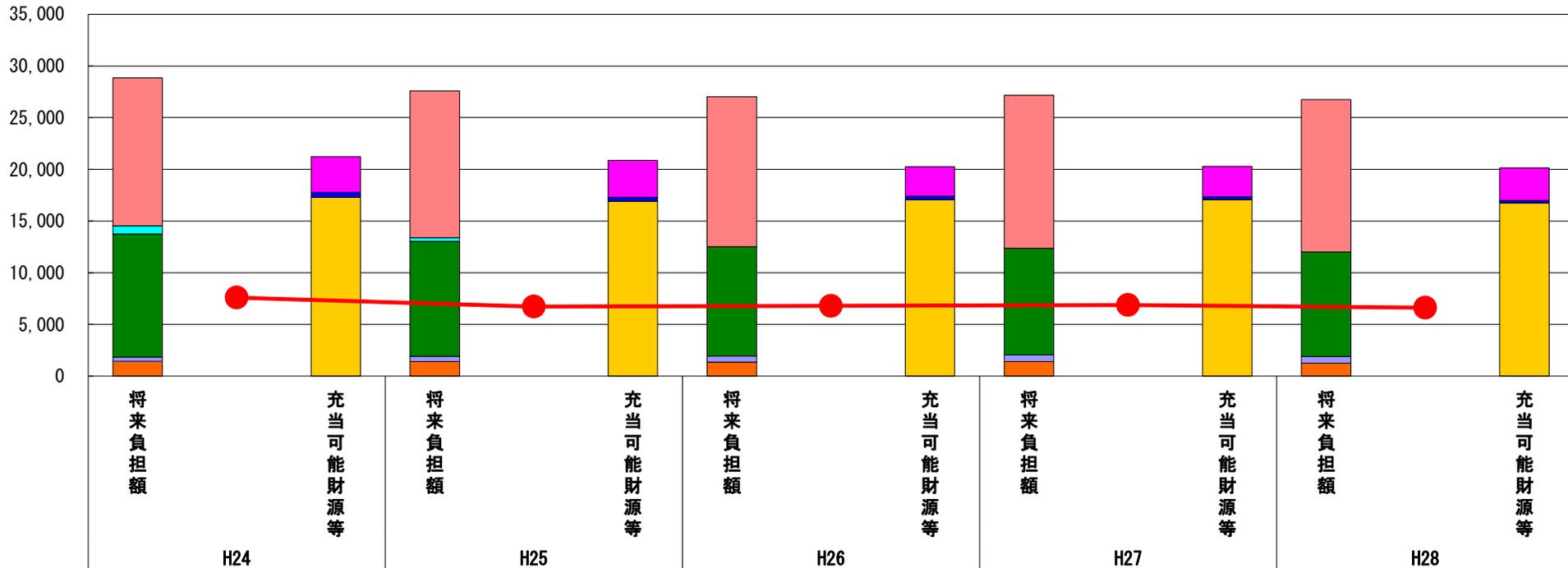


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

京都府京丹波町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		14,301	14,184	14,520	14,784	14,748
	債務負担行為に基づく支出予定額		791	367	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		11,901	11,094	10,556	10,328	10,102
	組合等負担等見込額		403	519	606	636	643
	退職手当負担見込額		1,437	1,412	1,352	1,401	1,254
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,442	3,565	2,865	2,934
充当可能特定歳入			489	386	331	284	249
基準財政需要額算入見込額			17,303	16,907	17,053	17,054	16,735
(A) - (B)	将来負担比率の分子		7,599	6,719	6,786	6,876	6,622

分析欄

将来負担額のうち一般会計等に係る地方債現在高は、前年度比減が続いていたが、平成26年度以降においては、道の駅「京丹波味夢の里」整備事業やデジタル防災行政無線整備事業等の大型事業の実施により、前年度比増となっており、平成29年度以後においても新庁舎の整備等が予定されていることから、地方債現在高は更に増加することが見込まれる。

債務負担行為に基づく支出予定額については、平成26年度に土地開発公社からの買い戻しがすべて完了し、皆減となった。

一方で、将来負担額から差し引かれる充当可能基金は、財政調整基金の積み増し等により対前年度208百万円の増加となった。

引き続き、将来世代に過度な負担の先送りがないように財政運営に取り組む。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。